

みで月額
)。緊急
る駆け付
000円)も
客で介護す
金が適用可
「徘徊感知

援

計1208万
はカンボ
ネパール
し、4000
た。
っている
などが増え
間をキャ
的に活動
//www.
kakisonji

08

20代初めの頃。埼玉・川
口の自宅から母の親戚に当
たる東京・銀座の加藤玉淵
書道教室に通ったのがきつ



0人いて、選択肢はなかつ
た。デザイナーの夫が「女
性も仕事をすべきだ」とい
う主義だったのが幸いしま

ある日突然やってくる災害。スマートフォンを持っていても、基地局の多くが倒壊・停電などで停波すればインターネットにつながらず、避難所やトイレ、医療施設を探すのもままならない。そこで役に立つのが、ポケットシェルター（東京都港区）が開発した防災アプリ「ポケットシェルタープレミアム」だ。

ポケットシェルター プレミアム



までの経路などを教えてくれる。写真右。自分が通ったルートは「足跡マーク」が付いて地図上に表示されるため、どこを移動したのか分からなくなって迷うこともない。緊急地震速報の受信と同時に周辺の避難所を表示する。このほかにも視聴覚障害者に対応し、利用者が被災して動けなくなった可能性があれば家族や知人らに自動で伝える安否情報メールや、子供の見守り機能なども搭載した。

災害時以外に役立つのも特徴で、観光、飲食、交通機関などの周辺施設が検索できる。同社の久保田春咲社長は「日常性がないとなかなか使ってもらえないので工夫を加えた」という。しかも多言語対応なので、外国人観光客らにも重宝されそうだ。月額使用料は税別120円。

災害時

通信オンでも

アプリが避難所に誘導



健康増進をテーマに開催された「ふくしま健民セミナー」
10月1日、福島県郡山市

第一生命の社会

らず幅広く一般市民を対象に、健康診断の受診促進キャンペーンを開始した。第一線の生涯設計デザイナー（営業員）約4万3千人が顧客の職場や自宅を訪問し、地元の市町村から提供される健康診断に関する情報などを伝え受診を促す。健康診断や人間ドックの受診は病气予防に欠かせないが、30代の女性を中心に受診率が低いとい

地域の「見守り」限界…

生前に身

地域の独居者らを対象に「見守り隊」といった組織がある。後見人も見守り隊も、こうした悲しい最期を防ぐと努力はするが、くまなく地域を回るにはおのずと限界もある。



残された2匹の飼い犬たちは…

終活のコツ

④独居女性の死とペット

そんな町の「空白」を埋めようという専門の業者や団体がある。自分の最期は、いつ来るかわからない。もしものとき、ペットや品々をどうするのか…。そうしたことを生前に契約・依頼し、家族への迷惑を最小限にする。

孤独死が増えつつある中、自身の葬儀の行い方、遺言書の書き方、遺品整理の仕方など、需要は伸びているという。「こうした契約には単身者にとつて、身近な人たちへの迷惑を軽減するといった利点がある。一方、生前に準備をし過ぎることに抵抗を感じる人もおり、今後とも丁寧な議論が必要だろ

う」(N&Y)